

吾も紅 11月の様子

紅葉のシーズン。

毎年恒例となっている吾も紅の行事として、久万高原町への紅葉狩りがあります。今年もあの素晴らしい愛、もとい紅葉をもう一度！…ということで、行ってきましたふるさと村。寒くなる前のちょうどいい11月10日、皆さん車の中で早くも心ウキウキです。道中秋の風景を楽しみ、着いた時に迎えてくれた赤と黄色のあざやかさ！「こんな綺麗な紅葉を見たのは初めて」「同じ木についても、上と下とで色が違うんじゃないか」皆さん口々に感想が飛び出します。「もう来年は見れんかもしれん…」しみじみ風景を心に焼き付けました。行きつけの料亭も、個室で座席はシートをつけて飛沫感染予防をしてくれています。地元の野菜や魚を使った料理に食が進みます。いつも食べないMさんが箸を伸ばしていました。やはり雰囲気は大事です。

10月半ばに体調不良のため急遽利用となったTさん。歩くのも精一杯、遠出を心配しましたが、1日がかりの遠足で全く苦痛を訴えることなく「楽しかった、ありがとうございました」と言ってくれました。軽度認知障害で出来事をすぐに忘れてしまう、というIさんも家族に紅葉がきれいで良かったと話していたそうです。



近いところでは道後公園にも散策に出かけました。「いつも通り過ぎるだけで、来たことがなかった。こんなにきれいだとは知らなかった」というKさん。「よく来ていた。銀杏の木がこんなに大きくなってたんやなあ」というYさん。みんなで葉っぱを拾ったりベンチに座って眺めたり。ゆったりとした時間を過ごしました。



さて食欲の秋、ということで理事長が「紅はるか」をひと箱買ってくれました！さっそく料理班により、これを使って芋パーティーが計画されました。メニューは“芋御前”。さつま汁、芋ご飯、てんぷら(各種)、大学芋、スイートポテトにサツマイモとリンゴのコンポート。まさに芋尽くしです。当日、張り切った利用者の皆さん、それぞれに芋を切ったり揚げたり混ぜたりこねたりします。



外では七輪の炭起こしが始まりました。

天気もいいし戸外で食べようとできあがった皿を持っていくと、見ていたAさんとYさん「揚げたてがおいしいわな」「味見してみよか」芋のてんぷらをパクリ。それにつられて皆もパクパク食べ始め、パーティーが始まるころには大方一皿食べつくされていたのでした…。

皆で外で食べるご飯はいつも最高！天高く馬肥ゆる秋もこうして深まっていくのでした。

